農業会議だより

第２５号（令和２年５月）発行:一般社団法人佐賀県農業会議

1. 令和2年度一般社団法人佐賀県農業会議事業計画
2. 農業委員会の活動事例紹介
3.「農の雇用事業」の概要
4. 令和2年度「農業者年金」の加入推進
5. 令和2年度「全国農業新聞」の普及推進
6. 常設審議委員会の結果（3月、4月）、行事予定

１．令和２年度一般社団法人佐賀県農業会議の事業計画

令和２年３月２４日に開催された第８回理事会において、下記の事業計画が承認され、３月２６日付けで県より農業委員会ネットワーク業務に関する事業計画及び収支予算について認可を受けました。

【令和２年度事業計画】

１．総会、理事会の開催
２．常設審議委員会の開催
３．農政活動
４．機構集積支援事業
５．農業者年金事業
６．農の雇用事業
７．情報事業
８．関連事業
９．各種団体への活動支援

今後も農業会議は、市町農業委員会はもとより、県・市町・農業団体との連携を密にし、農地法をはじめとする農地制度の適正な運用に加えて、農地の有効活用と利用集積・集約化の取り組みの推進、遊休農地の発生防止と解消、担い手の育成・確保など担うべき業務に積極的に取り組み、本県農業・農村の健全な維持・発展に努めます。

２．農業委員会の活動事例紹介

【事例①】みやき町農業委員会の取り組み

「若手農業者との意見交換会」を開催
～楽しい雰囲気で誰もが自由に発言～

みやき町農業委員会(会長・原一夫)は、このほど「若手農業者との意見交換会」を開催。「ＭＦＡメソッド（合意形成型会議）」を活用したもので、①楽しい②聴き合う③時間を守る“全員参加型の話し合い”にＪＡ青年部と農業委員２４名が参加されました。

会場には、耕作者の年齢別に色分けした地図や合意形成型の話し合いのルール等を掲示。進行役のファシリテーターは、農業委員会の田中事務局長が務められ、参加者を６名×４班に分け、「担い手を増やしていく対策」と「こうしていきたい未来のみやき町の農業の姿」の２つのテーマで話し合いました。

冒頭、グループの進行係や発表係などを決め、それぞれが自己紹介。名前や住んでいる地域だけでなく、最近の出来事でおめでたかったこと、嬉しかったことを交えながら自己紹介することで、会場は「①楽しい」雰囲気となり、全員が発言しやすくなりました。

続いて、テーマに沿って日頃の思いや、たくさんのアイデアを黄色い付箋紙に書いて出し合い、意見を「②聴き合う」。意見が出されて「こういう意見もあるよな」と思いついたら、ピンクの付箋紙で意見を付け足しました。話し合いでは、このピンクの付箋紙で「付け足す」ことが柔軟なアイデアを引き出す重要な役割を果たします。ファシリテーターは「どんどんピンクの付箋紙を付けて、意見をバージョンアップしていってください」と促しつつ、「③時間を守る」ために随時時間を確認させながら進行しました。皆で話し合い、似たような意見を枠囲みしながら意見を集約。これらを３つに絞り込み、タイトルを付けてグループの意見としてまとめ、各グループから発表しました。

参加者からは、「わきあいあいとして、発言しやすかった」、「決められた時間内で、たくさん意見が出て良かった」と好評でした。

【事例②】基山町農業委員会の取り組み

「人・農地プランの実質化に係る農業委員検討会」を開催
～集落での話し合い（進行役）のスキルを磨く～

基山町農業委員会（会長・坂本勇一）は、このほど「人・農地プランの実質化に係る農業委員検討会」を開催。農業委員、町産業振興課・ＪＡ職員１８名が参加しました。

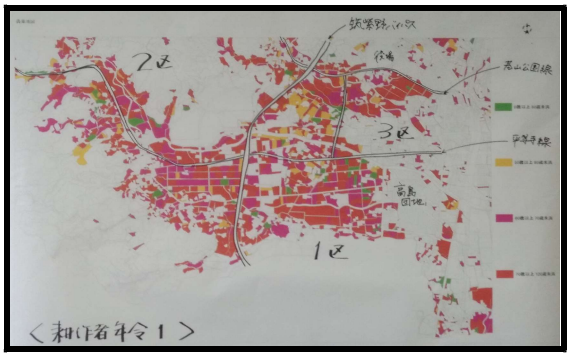
検討会の冒頭、農業委員会と町産業振興課が連携し、農地所有者等を対象に実施した「農地利用意向調査」の結果をもとに色分けした地図を用いて、年齢層ごとの農地の利用状況や担い手不足の課題等を参加者に説明し、情報共有しました。

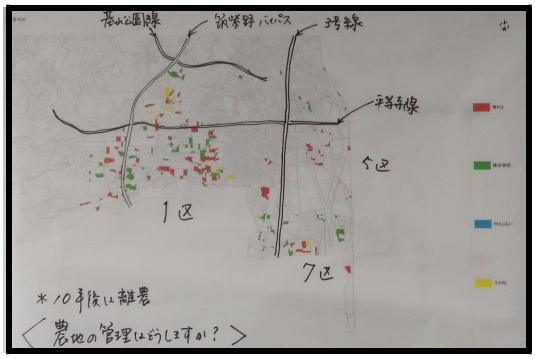
このあと「担い手を増やしていく対策」と「こうしていきたい未来の基山町の農業の姿」の２つテーマについて、５名×３グループに分かれて意見交換しました。

テーマに沿って、たくさんの意見を付箋紙への書き出し～付け足し～テーマの選定・絞り込み～発表～投票を行い、参加者の合意のもと決定していくMFAメソッド（全員参加型・合意形成の話し合い）を取り入れました。

このＭＦＡメソッドを取り入れた今回の検討会は、「うまく問いかけながら進行していくコツをつかむことができ、集落での話し合いを進めていく上でとても参考になった」、「短時間でアイディアが練り上げられ、方針決定が見える化できたことは効果的だった」などの意見が出されました。

今後、農業委員と町産業振興課、関係機関・団体と連携し、人・農地プランの実質化に向けて、町内７地区で話し合い活動を進めることとしています。





「MFAメソッド」は、人・農地プランの実質化に向けて、県農産課と農業会議が連携して、令和元年11月から令和2年1月に農業委員・推進委員、市町農政関係課職員、農業委員会職員、県現地機関職員、農地中間管理機構職員等を対象に開いた、「人・農地プラン話し合いコーディネートスキルマスター研修会」で学んだ座談会の形式です。

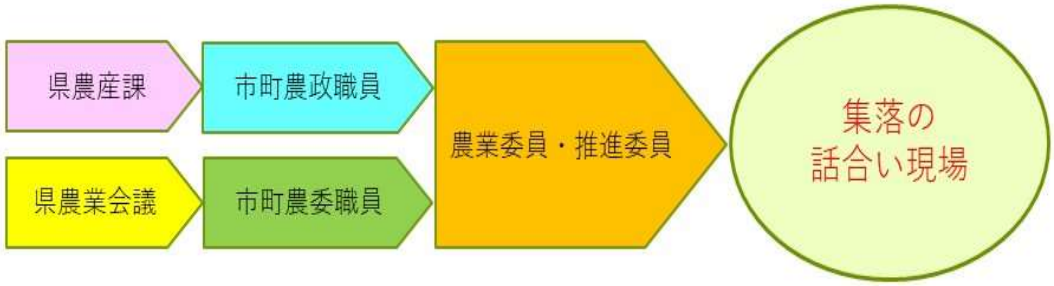
グループを作り、付箋でアイデアを出し合った後、自分たちで整理して練り上げたものを発表し、参加者全員による投票によって決めていくというもので、県内の他市町でも続々と活用する例が出ています。

人・農地プラン話し合いコーディネートスキルマスター研修会（シリーズ開催）

《第1部（基礎編）》
○地方考夢員研究所長・全国農業会議所専門相談員 澤畑 佳夫氏
人・農地プランの策定の意義やファシリテーションの有効性について学ぶ。
○会議ファシリテーター普及協会 釘山 健一氏・小野寺郷子／石川みちえ氏
MFAメソッドによる「対話型座談会のコツ」の基礎的な内容を学ぶ。

《第2部（実践編）》
○会議ファシリテーター普及協会 釘山 健一氏・小野寺郷子／石川みちえ氏
基礎編の内容を踏まえて「対話型座談会」の実践的なスキルを学ぶ。

《第3部（体験編）》
○地方考夢員研究所長・全国農業会議所専門相談員 澤畑 佳夫氏
人・農地プランの実質化に向けた具体的な進め方や各段階における留意点について学ぶ。



※研修の成果を伝播していくことで、集落での話合いが断然進めやすくなる（ことを期待しています）

M：Meeting	（ミーティング）	【会議】
F：Facilitators	（ファシリテーター）	【進行役】
A：Association	（アソシエーション）	【組織・協会】

3．農の雇用事業のご案内

全国農業会議所では、農業法人等が就業希望者を新たに雇用し、就農に必要な技術・経営ノウハウ等を習得させるための実践的な研修等に対して助成する「農の雇用事業」の参加者を募集します。
事業の実施を希望される農業法人等の方は、募集期日までに農業会議に必要な申請書類を提出してください。

助成内容

【助成額】年間最大120万円　**（研修生が多様な人材の場合は年間150万円）**
（新法人設立支援タイプの3年目以降は年間最大60万円）
＜内訳＞　①新規就業者に対する研修費　**月額最大97，000円**
（研修生が多様な人材の場合は、月額最大122,000円）
（新法人設立支援タイプでの3年目以降の助成額は月額最大4万8千円）
②指導者研修費　**年間最大120，000円**
指導者自らが人材育成手法や労務管理等を習得するための研修に要する費用です。
（研修生が多様な人材の場合は、年間最大420，000円）
（新法人設立支援タイプでの3年目以降の助成額は年間最大6万円）
【助成期間】最長24ヵ月（新法人設立支援タイプは最長48ヶ月）

令和２年度　募集スケジュール

募集回	募集期間	研修期間	正社員採用日
1回	2020年3月4日～4月3日	2020年6月1日～2022年5月31日	2019年6月1日～2020年2月1日
2回	2020年5月～6月（予定）	2020年8月1日～2022年7月31日	2019年8月1日～2020年4月1日
3回	2020年7月～8月（予定）	2020年11月1日～2022年10月31日	2019年11月1日～2020年7月1日
4回	2020年10月～11月（予定）	2021年2月1日～2023年1月31日	2020年2月1日～2020年10月1日

県内の研修生の状況

令和2年4月1日現在

区　分	研修生数	市町内訳
●30年度第1回募集	3	鳥栖1・白石1・太良1
●30年度第2回募集	4	唐津1・白石1・鹿島1・太良1
●30年度第3回募集	9	佐賀2・唐津2・武雄2・白石1・太良2
●30年度第4回募集	3	有田1・大町1・太良1
●31年度第1回募集	2	佐賀1・鳥栖1
●元年度第2回募集	1	鳥栖1
●元年度第3回募集	10	佐賀3・唐津2・伊万里2・江北1・太良2
●元年度第4回募集	0	
合　　計	32名	佐賀6・鳥栖3・唐津5・伊万里2・有田1・武雄2・大町1・江北1・白石3・鹿島1・太良7

◆詳しい要領等のお問い合わせは**農業会議へ**
もしくは「農の雇用」で検索【https://www.be-farmer.jp/nounokoyou/】

４．令和２年度「農業者年金」の加入推進

令和元年度新規加入目標達成市町（１０市町）

市町名	実績／目標	達成率	市町名	実績／目標	達成率
佐賀市	13人／8人	163%	玄海町	3人／ 2人	150%
吉野ヶ里町	1人／ 1人	100%	武雄市	1人／ 1人	100%
鳥栖市	2人／ 1人	200%	大町町	1人／ 1人	100%
みやき町	3人／ 2人	150%	江北町	1人／ 1人	100%
多久市	1人／ 1人	100%	白石町	8人／ 8人	100%

昨年度は県全体で５４人（目標６２人）の新規加入実績となりました。
農業者年金の普及・推進にご尽力いただき、本当にありがとうございました。

今年度は「加入者累計１３万人早期達成３ヵ年運動」の最終年度です。
農業者の老後生活の安定のため、引き続き農業者年金の加入推進をよろしくお願いします。

令和２年度 農業者年金新規加入目標

市町名	３ヵ年目標（30～2年度）(A)	H30年度実績	R元年度実績	２ヵ年実績（30･元年度）(B)	残り確保数 (C)=(A)-(B)	R２年度目標
佐賀市	25	10	13	23	2	10
神埼市	4	0	1	1	3	3
吉野ケ里町	1	0	1	1	0	1
鳥栖市	2	2	2	4	-2	1
基山町	1	0	0	0	1	1
上峰町	1	0	0	0	1	1
みやき町	3	0	3	3	0	1
多久市	3	2	1	3	0	1
小城市	6	1	2	3	3	3
唐津市	43	20	10	30	13	13
玄海町	6	8	3	11	-5	2
伊万里市	13	3	3	6	7	7
有田町	1	2	0	2	-1	1
武雄市	4	3	1	4	0	1
大町町	1	2	1	3	-2	1
江北町	2	0	1	1	1	1
白石町	23	7	8	15	8	8
鹿島市	10	2	2	4	6	6
嬉野市	7	0	1	1	6	6
太良町	7	1	1	2	5	5
計	163	63	54	117	46	73

※網掛けの市町は自主目標設定

5．令和２年度全国農業新聞の普及推進について

今年度の普及目標：１５００部

今年度は多くの農業委員会で改選となります。退任委員の継続購読および新任委員の皆購読をよろしくお願いいたします！

	市町名	農業委員数（推進委員含む）	元年度 実績 (R2.3)	2年度 目標 (R3.3)	2年度 必要部数
1	佐賀市	63	203	222	19
2	神埼市	33	74	84	10
3	吉野ヶ里町	19	40	46	6
4	鳥栖市	26	48	56	8
5	基山町	14	21	25	4
6	上峰町	10	17	20	3
7	みやき町	24	31	38	7
8	多久市	22	53	59	6
9	小城市	39	73	84	11
10	唐津市	53	143	159	16
11	玄海町	13	29	33	4
12	伊万里市	34	76	86	10
13	有田町	17	44	49	5
14	武雄市	45	81	94	13
15	大町町	10	21	24	3
16	江北町	13	51	55	4
17	白石町	37	59	70	11
18	鹿島市	31	71	80	9
19	嬉野市	33	65	75	10
20	太良町	19	44	50	6
－	農業会議	－	93	93	
合計		555	1,337	1,500	163

6. 常設審議委員会結果（令和2年3・4月）

農地法第４条及び第５条の規定により県農業委員会ネットワーク機構(佐賀県農業会議)に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議されました。

第48回、第49回の件数及び面積については、以下のとおりです。

〈農地法関係処理状況〉

○審議件数

第48回	３月16日	第４条	－
		第５条	3
第49回	４月15日	第４条	－
		第５条	3

○田畑別件数及び面積(㎡)

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第48回	３月16日	第４条	0	－	0	－	—	－
		第５条	15	85,730	9	64,580	3	150,310
第49回	４月15日	第４条	0	－	0	－	—	－
		第５条	2	22,445	2	8,979	3	31,424

7. 今後の行事予定

月	日	時間	場所	内容
5	15	13:30	グランデはがくれ	第50回常設審議委員会
	20	10:00	農業会議事務局	農業会議監査・役員会
	~~26~~	~~13:30~~	~~グランデはがくれ~~	第57回佐賀県農業委員会職員協議会総会【書面議決】
	~~26~~	~~14:30~~	~~グランデはがくれ~~	農業委員会職員研修会【延期・期日未定】
	27	13:30	グランデはがくれ	農業会議理事会
6	~~2~~	~~12:30~~	~~文京シビックホール~~	全国農業委員会会長大会【中止】
		~~18:00~~	~~東京グリーンパレス~~	国会議員への要請活動【中止】
	15	10:30	グランデはがくれ	第51回常設審議委員会
		13:30		農業会議通常総会・臨時理事会
8	26	13:30	白石町 ふれあい郷 自有館	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会